



福祉施設対策委員会 ニューズ

No2012-04
2013年
1月15日



医療センター乳児院

人員不足

欠員状態が続き、なかなか解消されない。

医療センター産科の欠員補充の為、乳児院の助産師2名が移動になった。代わりの看護師1名は来たが、1名は補充される見通しが全くない。保育士も昨年から3名募集しているが12月、1月とやっと2名配置。年休どころか公休も月内に付かず、翌月に持ち越し。障がい児も多く、みんな疲れて余裕がない。早急に欠員補充を!!

隣接マンション敷地の通過が出来ないのは保育の低下

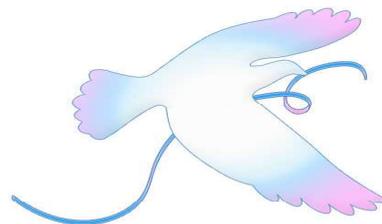
有栖川公園は環境も良く、遊具が充実している。子ども達を心身ともに発達を伸ばす事が出来る。子ども達の成長は1日1日が貴重な1日なのです。隣の保育園は通過できて、「乳児院の子ども達は通過してはいけない」と言うのは何が違うのでしょうか!!早急に改善を!!

院内保育所(さくらんぼ)

1名退職の欠員補充を早急に!!乳児院の生活体験室(子ども達の大切な憩いの場所)の1室を、院内保育所として使用する今の体制を、いつまで続けるつもりなのか?早急に乳児院以外での設置を計画し、正常な院内保育所運営の目途が必要!!

社会福祉をめぐる情勢

昨年の総選挙で、民主党政権から再び自民党政権に逆戻りしました。政権交代前の8月に、子ども・子育て(新システム)関連法は、民自公により可決されており、今後保育の質を守るためのたたかいを展開していく必要があります。また、自民党政権によって「自助」「自立」という大義名分のもとに、生活保護の削減や社会保障の予算削減等が行われる状況になりつつあります。その一方消費税増税により、負担は増えます。また消費税は全額社会保障に使うとされていますが、実態は法人税減税を始めとする大企業・富裕層優遇税制の補填に使用されます。TPP参加にも積極的で、参加する事になれば社会保障分野でも、設け優先の状況となり益々社会保障は削られてしまいます。今年夏にある参院選挙でも自民党が勝利すると、この流れは加速する一方です。反動的逆流に立ち向かい社会保障削減を阻止する為にも、今後のたたかいが重要となってきます。



2月は松本(乳)の掲載を予定しています。